

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

グローバルに変化する食品物流を担う低温を核とする総合物流情報企業の実現

営業収益
2,000億円ROE
8.0%以上自己資本比率
45%程度配当性向
20%以上

2 中長期の経営戦略

1. 持続可能な物流事業構築

食のライフラインを守る物流推進、脱炭素社会への対応、多様性を重視した働きやすい職場環境構築

3. 共同配送事業の機能・収益強化

ネットワーク再編、事業会社別の枠を超えた新共同配送構築、顧客・市場対応への事業再編

2. 戦略的財務構成と企業価値向上

資本と負債のバランス最適化によるROE8%以上維持、資本効率向上、株主還元充実

4. 成長分野への投資促進

EC関連物流への進出、温度管理技術活用の新事業領域拡大、安定成長見込める海外案件投資

3 対処すべき課題

① 経営環境の変化への対応

- ・物価上昇と円安進展による継続的なコスト増加
- ・市販用冷凍冷蔵食品の物量伸び悩み一方で業務用は回復傾向
- ・EC等流通チャネル多様化への対応

② 物流2024年問題への対処

- ・輸送リソース（人員等）減少への対応
- ・物流事業者の事業継続性リスク上昇

③ サステナビリティ実現の推進

- ・CO2排出量削減への取組み加速
- ・機械化・DXによる省力化・省人化実施
- ・プライム市場上場企業としての持続可能な成長要請への対応

面接で使えるポイント

- ・低温パイオニアの経験を活かし、EC・医薬品物流など新規領域で事業規模拡大を推進
- ・2034年度営業収益2,000億円達成に向け、約100億円の追加投資で持続可能な物流基盤構築
- ・CO2削減とDX省力化により、社会・市場からのサステナビリティ要請に応える企業成長を実現

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

2015年10月1日に名糖運輸株式会社及び株式会社ヒューテックノオリングが

主力事業・セグメント

- ・Transferセンター 65.2%
- ・Distributionセンター 34.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,160億円の事業規模

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
1,160億円営業利益率
4.1%財務健康度
34点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 44.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
540万円平均年齢
40.3歳平均勤続
5.0年女性管理職
2.8%男性育休
0.0%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

